

首里城の「内鑑池」。湧き水や雨水が集まり、水が留まる仕組みになっている

管理の3ポイント!

予算配分・家計簿・財産の把握

◆予算配分をする 現在の月収を、何にいくら使うのか、具体的に予算案を作ります。これまで各項目の比率がどうなっていたのかを確認。そして、本当はどんなふうに使いたいのか、理想の予算配分を考えます。ポイントは、経費を抑えて、投資を増やすことです。心が豊かになる、人間として成長する、健康になる、お金が増えるといった部分に予算を充てるようにします。まずは「未来への投資」「現在への投資」「愛と感謝」「生活費」と大きく4分割=下。ひと月分の予算案から1週間の予算案を出し、週単位で管理するのがおすすめです。現金とカードは別々に予算を組みましょう。こうすることでアナログ感覚で使った金額が感じられ、無駄な出費を抑えられます。さらにおすすめなのが、新札をお財布に入れておくこと。お金が美しいため、無意識に、1枚1枚を大切に使うようになります。

ひと月の予算配分
【世帯収入が40万円の場合】

投資	投資&経費
1. 未来への投資 (10%) 【貯蓄】 40,000円	4. 生活費 (70%)
2. 現在への投資 (10%) 【遊び、楽しみなど】 40,000円	1) 固定支出 【家賃、光熱費、通信費、保険など】
3. 愛と感謝 (10%) 【ギフト、おもてなし、寄付など】 40,000円	2) 流動支出 【食費、日用品、交通費、衣服、医療費など】 280,000円

1)まず、投資予算1~3を支払う。(比率は目安)
2)生活費の予算配分を行い、経費抑え、投資の比率を高くしていく。

◆家計簿は4項目に分けて おすすめはシンプルな金銭出納帳。①現金(食費、日用品)②現金(その他)③銀行口座引き落とし④クレジットカード、に分けると管理しやすくなります。大切なのは毎日つけること。習慣化できれば楽しくなってきます。

◆全財産を知る アナログ管理に加えて、デジタルでの管理も並行することで、全財産をいつでも一目で確認できるようになります。例えばマネーフォワードというアプリでは、項目別の家計管理のほか、インターネットバンキング機能を使って、銀行口座、株式口座、電子マネー、各種ポイントなど全ての財産を一目で確認可能。毎月、月末に全財産の数値を家計簿に書き込むことで、現在の家計の流れが分かります。

安心してお金に向き合うための風水



風水では水は財を表すため、水が清らかで循環していること、適切な位置に豊富に留まっていることを大切にしています。家計に置き換えると、どんなことが見えてくるでしょうか。単なる占いではなく、自然界の法則を現実に置き換える活用法をご紹介します。

文・写真／横川明子（琉球風水師）

【財】は【水】

風水では、財は「水」に例えられます。自然界の山では、上方から湧き出た水が合流して川幅が広がり、滝ができる滝つぼや湖に流れ込み、水は留まります。留まつた水には必ず小さな出口がある、少しずつ流れ出ています。循環している水は、常にきれいに保たれています。これが、自然界の水の流れです。住宅やライフスタイルなど、人生に風水を取り入れるために解説、意図的に仕組み化した環境をつくり、維持管理することです。首里城の水の流

れを見てみると、自然の原理原則から、その法則に従つて意図的に水の流れが作り出されていると感じます。下写真。

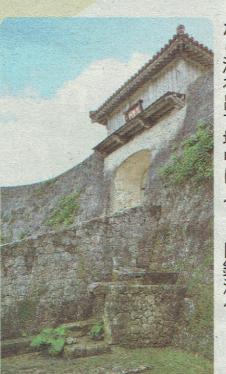
【排出経路】を確認

これを家計に置き換えてみましょう。まず、自然界の法則を見習って、水＝お金の流れを想定してみましょう。お金を留まらない場合、湧き出る水の量以前に、構造設計をしていないこと、管理していないことが原因のほとんどです。予算配分により構造を設計し、家計簿やアプリでお金を管理してみましょう。



首里城に見る水の流れ

久慶門の近くにある寒水川（桶川）。湧き出た水はクネクネと曲線を描きながら内鑑池へと流れ込んでいます。水の留まる場所は2段階になっており、水量が増えると内鑑池と龍淵橋の間にある「龍淵橋」のアーチ状の穴が水路となって、龍潭へと水が流れていきます。龍潭には数ヶ所の排水溝があり、少しずつ水が排出される構造です。



寒水川（桶川）からあふれた水は、久慶門の左右から流出して地中に入り、内鑑池へと流れ込む